

地区とのタウンミーティング 議事概要

日 時	令和5年9月22日（金）午後6時～午後7時
地 区	松塚地区
場 所	松塚ふれあい館集会室
参加人数	17人

テーマ1 これからの「交野会館」について

テーマ2 松塚の未来図について

主 旨（区長）

- 松塚地区は、都市計画で見ると、交野会館や松塚公園があるすばらしい地区である。京阪電車も通っており好立地であるが、交野会館や松塚ふれあい館は我々の財産ではない。約束は難しいとは思いますが、ほぼ永久的に松塚の物として使っても大丈夫との声を聞きたい。松塚公園は100%ボランティアで管理しており、市に貢献している。その辺りも汲み取っていただき、高齢化が進むこの松塚地区に夢を与えてほしい。
- 松塚地区では、公園を市で管理してほしいという意見は出ておらず、一所懸命いまの状態を維持していこうと考えている。その代わりに、天の川の公園にあるような大人用の遊具を設置してほしい。
- 公園には2か所の排水があるが、公園の汚水槽は、蓋の部分を低くすることができず盛土をしているため、きつい雨が降るたびに砂が流れる。砂がトイレの方に流れるため、ボランティアの方が箒で砂をかきあげている状態。おもては、去年6月に盛り土が全部流れてしまい天板が見える状態になってしまった。天板を埋めてもらったが京阪電車側の溝が砂に埋まったままになっており、水が流れる道筋がない状態。市も対応を行ってくれているが根本的な解決にはなっておらず、時間がかかってもある程度完璧な状態にしてほしい。

市 長

- 松塚公園の管理について、ここまできれいに維持管理されている公園は交野市内を見てもなかなか無く、皆さんに感謝申し上げる。梅が枝と松塚地区は、過去に大阪府が計画的に開発された良好な住宅街であり、大雨が降った場合の浸水もない。だからこそ転居もなく高齢の方が住み続けたいと思っておられると思う。
- 会館には2種類あり、私部や郡津のように名義も財産区の会館と、松塚のように新興住宅の会館がある。新興住宅の会館は、昔は名義を自治会にすることが出来ず、便宜上、市の名義になっているが、管理については地区の皆さんで行っていただいている。ただし、耐震工事、設備の更新については補助を行っている。会館が複数ある地区においては、1つに集約する場合、国が半分補助し、その半分を市と地区が出すといった話がある。今ある会館については、補助金を出しながら地区で維持管理を行ってもらうが、複数ある会館については別のやり方もあり、今後の会館のあり方については、地区の皆さんときっちり話し合い、よりよい整備を行っていきたい。来年度からは、タクシー事業者と連携してワゴン車を走らせる予定であり、外出支援も進め、今後も住みやすい松塚地

区の魅力を高めていきたい。

- 交野会館の名義は市であるが、過去の経緯から考えれば地区のもの、住民の皆さんのものであることは間違いなく思っている。公園に関しては微妙であるが、市は提案をすることはあるが最終決定はせず、基本的には地区の皆さんと意見交換しながら決めていきたい。管理を市で行うと今のコストの2~3倍の管理費がかかり、できれば地域の皆さんで管理を行っていただきたいと考えている。地区の皆さんの意見を尊重し、高齢化等により管理が難しい場合は市に言ってもらい、最終的に市が責任を持って管理を行う。
- 公園の遊具については、より多くの市民の方が利用されると思われる大きな公園から、順次、健康遊具を設置する予定。あわせて、学校のトイレの整備が終われば老朽化の進んでいる公園からトイレの整備を行ってきたい。
- 交野市の他の公園も同様であるが、公園に雨水排水路がなく、周辺の溝に流れる仕組みとなっている。過去にあった下水処理場がないため、大阪府の流域下水に流している。雨が多く降った時は、枚方にある下水処理場がパンクするので、市としてやむを得ず、松塚公園の下に貯留施設を整備させていただいた。埋めた後に土砂を大量に盛ってしまい、雨水排水路がないという要因も重なり、土砂が雨水とともに流れてしまうという状況が発生している。本来であればタイルも張り替えて整備すべきと考えているため、緑地公園課に対策を求めたい。

意見

- 交野会館と花壇を一体として駐車場にしてはどうかという話があるが、環境維持の観点からもこのままにしていきたい。ただ一方で、高齢化により駅前広場の維持管理が難しくなっており、今後は、松塚地区の意見の反映された未来図を一緒に考えてほしい。
- 〔市長〕駐車場の整備の話があったのは事実であるが、線路の反対側に駐車場が出来たため、今はまったく状況が異なり、採算が取れないと思う。

テーマ3 道路の管理・整備について

主旨（区長）

- 道路も含めた今後の修繕計画について具体的にどのように解決していくのか、市として、中・長期的に考えていかなければならない。松塚も高齢化が進んでおり、地域に任せるのではなく、行政が大きな柱をもって解決できる仕組みづくりを前向きに考えてほしい。

市長

- 交野市における公共施設については、20か年計画を策定し維持管理を行っている。役所をどうするのかは別に切り分けてまずは耐震工事を実施し、青年の家にはエレベーター設置を行うのが当面の方針である。
- 道路については、幹線道路を中心に5年に1度路面調査を行い、悪いところを中心に補修を実施している。一般的な生活道路については、家の建て替えや水道管の移設等、様々な要因で補修が行われる。ひどい場合は優先的に補修を行っており、道路に関してはおおむね維持管理が出来ている。公園については、明確な建築物がなく、そこまでの維持管理を行っているわけではないが、遊

具については計画的に更新をかけている。松塚の公園については、配水の関係もあるため別途対応していきたい。上下水道についても計画的に更新していかなければならない。

- これまで、交野市ではあまり維持管理を行わず、できるだけ借金の返済にあてていた過去がある。借金の返済については、おおむね、あと 10 年すれば土地がらみの借金の返済が終わる。先が見えてきたため、維持管理の計画を策定しており、計画に基づいて行っていくが、今後の人口状況も見極めて、公共施設の維持管理を行っていきたい。
- 松塚地区については、浸水に関してはあまり心配はいらないと考えており、地震対策が大切であると考ええる。

意見

- 梅が枝から松塚地区に入ってくる道路がデコボコになっている。もう少しきれいにしてほしい。
→〔市長〕市道私部西線は万代付近で途切れており、ここを通っているのはまた別の道路である。私部西線は路面調査の対象にはなっているので、併せて今後、他の道路の状況も含めての対応になると考える。
- 道路の使用の仕方に問題があり、自分でお願いしても聞いてもらえず道路河川課にお願いに行った。行政代執行できれいに片付いたが元に戻り、管理責任のある市に対応をお願いしたい。
→〔市長〕他の地区における道路の問題で 5 年ほど指導したが改善されず、民法が改正されたこともあり強制切除を行った。別の土地では、市が買った地区が野菜畑になっており、宅地造成を行い新しい会館を建てるという取り組みを始める予定。一概にマルかバツかと言えるわけではなく、過去にどれくらい指導したかも含め総合的にみて、慎重に行う必要がある。市としては、地区で円満に解決いただけると助かる。

その他

意見

- ゆうゆうバスを復活させてほしい。
→〔市長〕ゆうゆうバスについては、過去に京阪バスから求められ一旦廃止した。市としては京阪バスとしっかり話し合い、路線の充実をお願いしている。一方、京阪バスの通っていないエリアについては、市としてワゴン車を通してしている。もうすでに、森南、寺、神宮寺、東倉治を通るワゴン車を運行しており、来年度については、交野市駅、梅が枝の万代、郡津駅、幾野を通る循環のワゴン車の導入を予定している。
- 交野病院横の下水処理タンクは市の所有であるが、今後の計画はあるのか。タンクがなくなればテニスコートを広げることができるのではないかと。
→〔市長〕過去、この地区においては下水処理場があった。様々な経緯で利活用の話があり、交野病院に売却されたが、一部残地がある。ご指摘のタンクがある土地と、天野川沿いの角地の 2 か所が残っている。うち、タンクのある土地については、隣接しているのがここと交野病院しかない。土地にタンクがあるため撤去費用がかかり、ほぼマイナスになるが、現在、不動産鑑定も行き交野病院と協議を行っている。もう一つの角地に関しては、用途地域の関係でいろいろな利用ができ面積も広いことから、公募で売るべきであると考えている。進入路のあるところとあわせて売

るという考えはない。